

2026年度 玉川大学
卒業生・進路先アンケート調査
報告書

調査概要

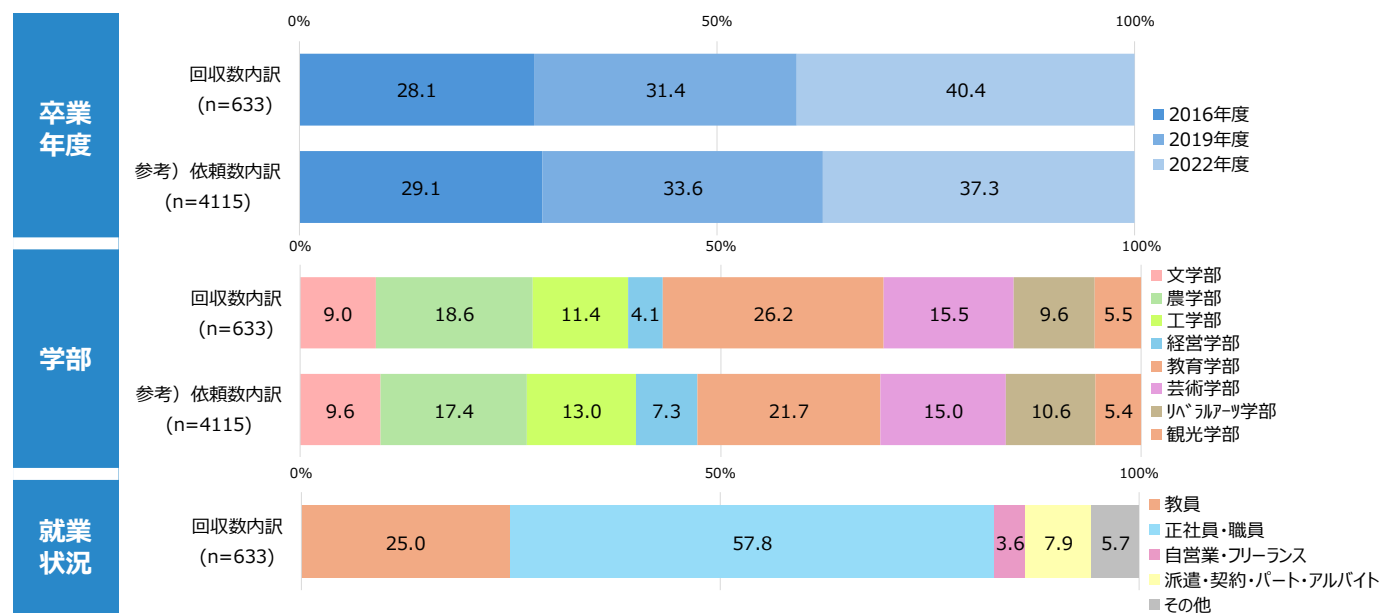
調査目的：

教育改善に資する基礎データの取得と見直しに役立てる。

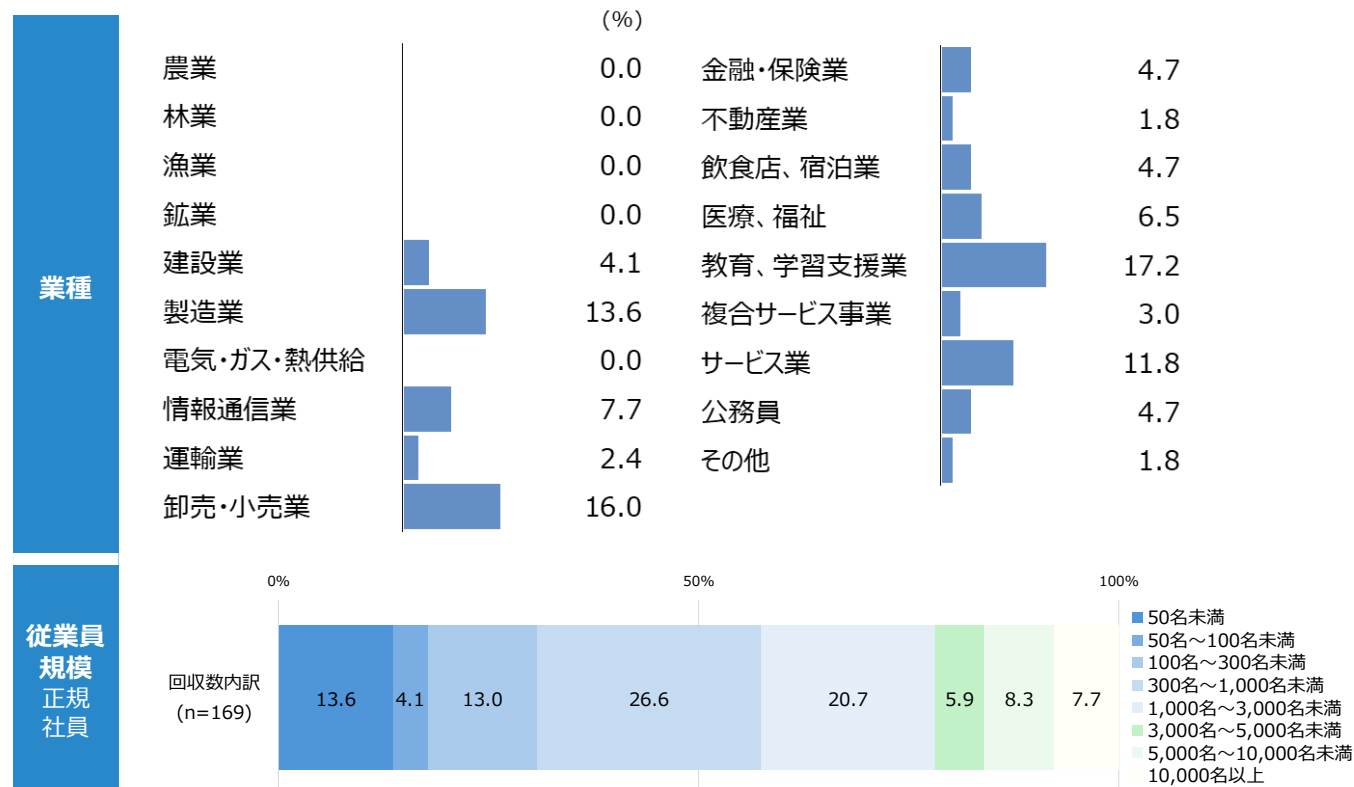
学位プログラムを修了した本校の卒業生が、実際に「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の修得に資するものであったか、身に付けた資質・能力が進路先でどのように役立っているか等をアンケート集計し「学修成果・教育成果の把握・可視化」の一つの客観的データとし、教育に関するさらなる改善及び教育の質保証の推進に活用する。

	卒業生調査	進路先調査
調査対象	2016年度、2019年度、2022年度のいずれかに卒業した卒業生	卒業生の採用実績がある企業・団体等の採用担当者
実査期間	2026年4月27日（月） ～5月24日（日）	2026年5月11日（月） ～6月23日（火）
調査方式	郵送依頼→Web回答	メール・郵送依頼→Web回答
配布数	4,115件	470件
回収(%)	633件（15.4%）	169件（36.0%）
調査項目	現在の職業関係、学生時代の経験・成長実感、社会に出てからの実感 他	業種、求める人材・重視点、卒業生の特徴・能力 他

【卒業生調査】回答者属性情報



【進路先調査】回答企業・団体属性情報



社会で求められる力と、玉川大学卒業生の習得度

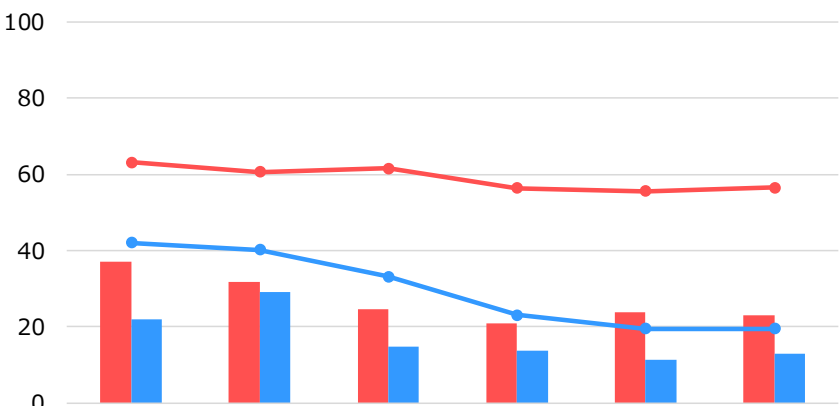
(1) 思考力 に関連する項目

TOP1分析：各設問で最も評価の高い項目を選んだ割合

上位3項目

※TOP1の選択肢

- 【卒業生：習得度】かなり身についた
- 【進路先：習得度】かなり身につけている
- 【進路先：重視度】かなり重視する
- 【卒業生：必要度】とても必要だと思う

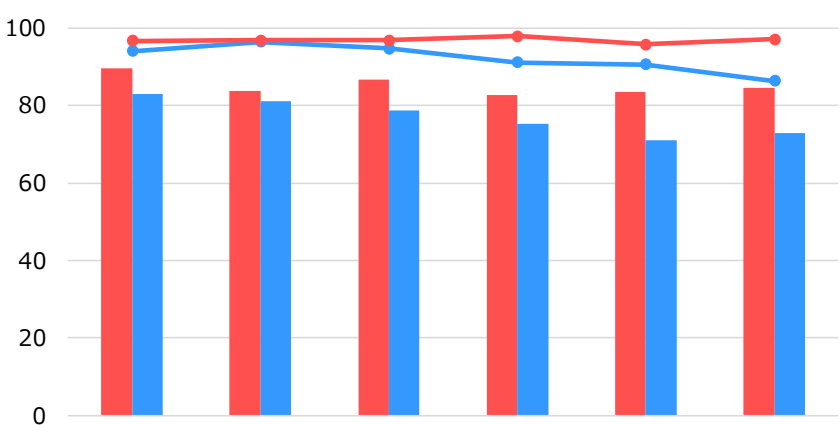


	n	他者との共通点・違いを理解する力	社会に参画し人と関わらう力	問題を見だし解決策を生み出す力	論理的に組み立てて表現する力	情報を抽出し吟味する力	情報を関連づける力・類推する力
【卒業生】在学中の習得度	633	37.0	31.8	24.5	20.9	23.7	23.1
【進路先】貴学卒業生の習得度	169	21.9	29.0	14.8	13.6	11.2	13.0
【進路先】新卒採用での重視度	169	42.0	40.2	33.1	23.1	19.5	19.5
【卒業生】社会での必要度	633	63.2	60.7	61.6	56.4	55.6	56.6

TOP2分析：1番目・2番目に評価の高い項目を選んだ割合を合算したもの

※TOP1、TOP2の選択肢

- 【卒業生：習得度】かなり／ある程度身についた
- 【進路先：習得度】かなり／ある程度は身につけている
- 【進路先：重視度】かなり／ある程度重視する
- 【卒業生：必要度】とても／まあ必要だと思う



	n	他者との共通点・違いを理解する力	社会に参画し人と関わらう力	問題を見だし解決策を生み出す力	論理的に組み立てて表現する力	情報を抽出し吟味する力	情報を関連づける力・類推する力
【卒業生】在学中の習得度	633	89.6	83.9	86.6	82.8	83.6	84.7
【進路先】貴学卒業生の習得度	169	82.8	81.1	78.7	75.1	71.0	72.8
【進路先】新卒採用での重視度	169	94.1	96.4	94.7	91.1	90.5	86.4
【卒業生】社会での必要度	633	96.7	96.8	96.8	97.9	95.7	97.2

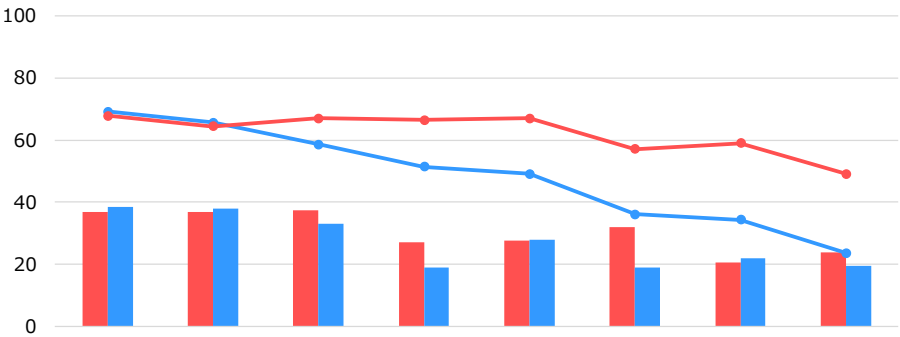
社会で求められる力と、玉川大学卒業生の習得度

(2) 姿勢・態度 に関連する項目

TOP1分析：各設問で最も評価の高い項目を選んだ割合

上位3項目

- ※TOP1の選択肢
【卒業生：習得度】かなり身についた
【進路先：習得度】かなり身につけている
【進路先：重視度】かなり重視する
【卒業生：必要度】とても必要だと思う



	n	相手の立場 に立とうとする 姿勢（共感 性）	他者と関わろ うとする積極 性（外向 性・親和 性）	粘り強くやり 抜く力（持 続性・誠実 性・勤勉 性）	感情の制御 （ストレス耐 性）	状況に応じ 冷静に対応 する力（自 己統制力・ 柔軟性）	未知のもの に挑戦する力 （チャレンジ 精神・開放 性）	立ち直りの早 さ（回復 力）	自ら先頭に 立って進める 力（自主 性・率先 性）
■【卒業生】在学中の習得度	633	36.8	37.0	37.4	27.0	27.6	32.1	20.7	23.9
■【進路先】貴学卒業生の習得度	169	38.5	37.9	33.1	18.9	27.8	18.9	21.9	19.5
●【進路先】新卒採用での重視度	169	69.2	65.7	58.6	51.5	49.1	36.1	34.3	23.7
●【卒業生】社会での必要度	633	67.8	64.5	67.0	66.5	67.0	57.2	59.1	49.1

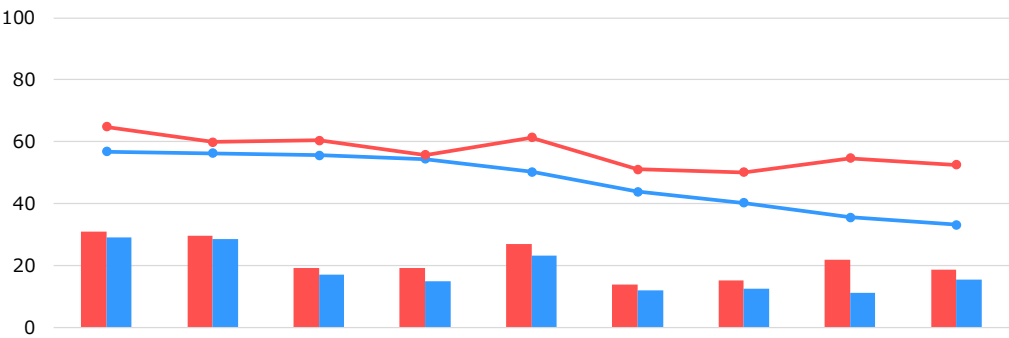
社会で求められる力と、玉川大学卒業生の習得度

(3) 経験 に関連する項目

TOP1分析：各設問で最も評価の高い項目を選んだ割合

：上位3項目

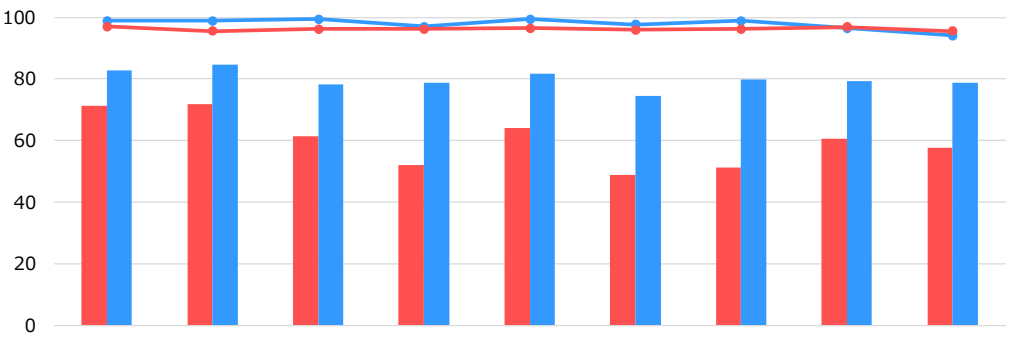
※TOP1の選択肢
【卒業生：取組度】
とてもよくやった
【進路先：習得度】
かなり身につけている
【進路先：重視度】
かなり重視する
【卒業生：必要度】
とても必要だと思う



	n	自分の価値観で良し悪しを決めつけず、相手の立場や体験を尊重し付き合った	自分の目標は達成するまであきらめずやり遂げた	ストレスを感じたとき、その問題と向き合い克服した	チーム内でトラブルが起こったとき、自ら働きかけて問題を解決した	難しいと思えることでも挑戦した	試験の結果が出たとき、結果の良し悪しだけでなく、どうすればさらに良くなるかを考えた	良い評価（成績）が得られなかったとき、なぜその評価になったのかを考えた	議論（話し合い）の場では何が課題で何を解決すべきかを明らかにするようにした	チーム活動などで計画を考える際、どのくらい効果的か予測しながら進めた
【卒業生】在学中の取組度	633	31.0	29.5	19.1	19.1	27.0	13.7	15.2	21.8	18.6
【進路先】貴学卒業生の習得度	169	29.0	28.4	17.2	14.8	23.1	11.8	12.4	11.2	15.4
【進路先】新卒採用での重視度	169	56.8	56.2	55.6	54.4	50.3	43.8	40.2	35.5	33.1
【卒業生】社会での必要度	633	64.8	59.9	60.3	55.8	61.3	51.0	50.1	54.7	52.4

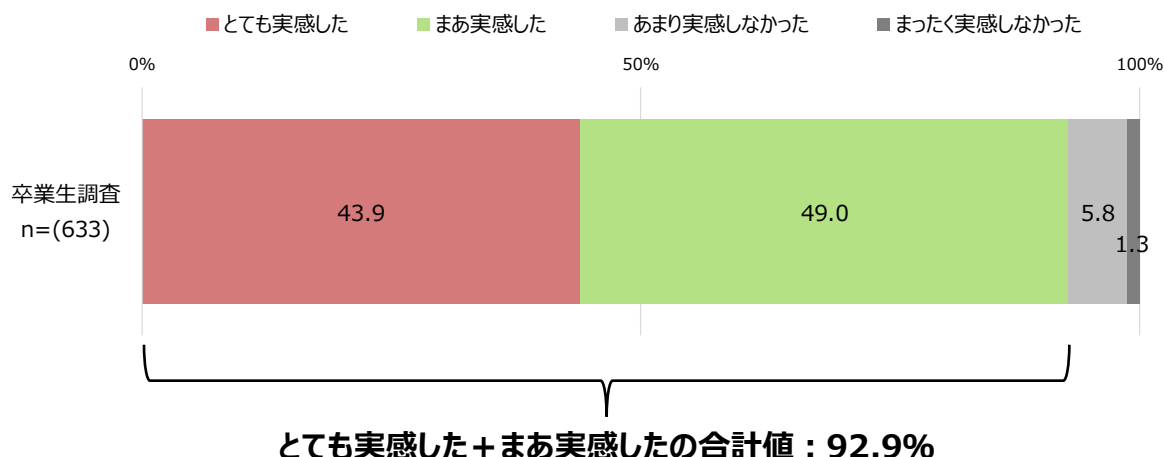
TOP2分析：1番目・2番目に評価の高い項目を選んだ割合を合算したもの

※TOP1、TOP2の選択肢
【卒業生：取組度】
とても／よくやった
【進路先：習得度】
かなり／ある程度は身につけている
【進路先：重視度】
かなり／ある程度重視する
【卒業生：必要度】
とても／まあ必要だと思う



	n	自分の価値観で良し悪しを決めつけず、相手の立場や体験を尊重し付き合った	自分の目標は達成するまであきらめずやり遂げた	ストレスを感じたとき、その問題と向き合い克服した	チーム内でトラブルが起こったとき、自ら働きかけて問題を解決した	難しいと思えることでも挑戦した	試験の結果が出たとき、結果の良し悪しだけでなく、どうすればさらに良くなるかを考えた	良い評価（成績）が得られなかったとき、なぜその評価になったのかを考えた	議論（話し合い）の場では何が課題で何を解決すべきかを明らかにするようにした	チーム活動などで計画を考える際、どのくらい効果的か予測しながら進めた
【卒業生】在学中の取組度	633	71.4	71.7	61.5	52.1	64.1	48.8	51.2	60.7	57.7
【進路先】貴学卒業生の習得度	169	82.8	84.6	78.1	78.7	81.7	74.6	79.9	79.3	78.7
【進路先】新卒採用での重視度	169	98.8	98.8	99.4	97.0	99.4	97.6	98.8	96.4	94.1
【卒業生】社会での必要度	633	97.0	95.6	96.2	96.2	96.5	95.9	96.2	96.8	95.6

玉川大学での成長実感



まとめ

企業・団体が特に必要とする能力や経験について、卒業生は概ね高い習得実感を得ており、実際に企業・団体の多くがそれを評価している。

具体的には他者と協働した経験や、共感性などが上位に挙がっており、ディプロマポリシーにおいて「コミュニケーションスキル」や「チームワーク」として含まれる内容が在学中に身につけられ、卒業後にも高く評価されていることがうかがえる。

一方、企業・団体が重視する経験のうち、他と比べて在学中の経験が浅いと考えられるのは「ストレスを感じたとき、その問題と向き合い克服した」経験。

難しいことやストレスを感じるなどに対して、それを避けられるように整備したり取り払ったりするだけでなく、在学中に経験ができるように機会を与え、必要なフォローを備えることが重要と考えられる。